

女性研究者における男女の格差（図1～図5）

図1. 配偶者/パートナーを有する者の割合

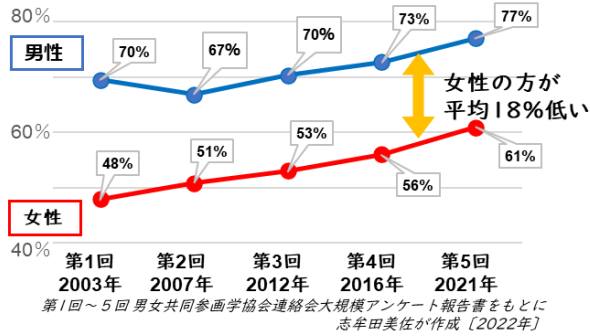


図2. 子どもがいない者の割合

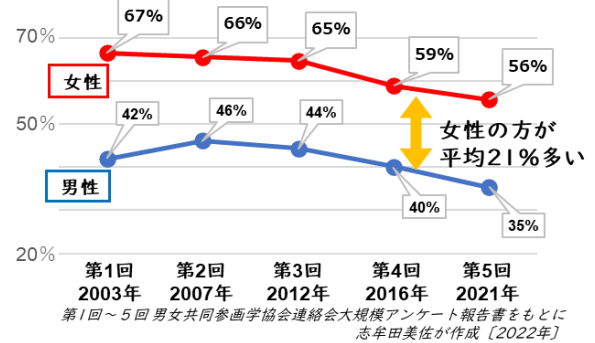


図3. 子どもの数の現実と理想（第5回2021年）

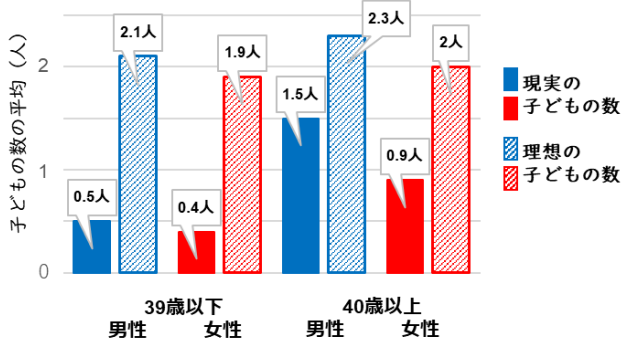


図4. 職の都合により別居を経験した割合

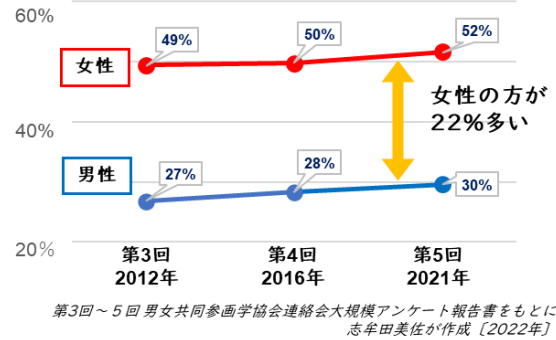
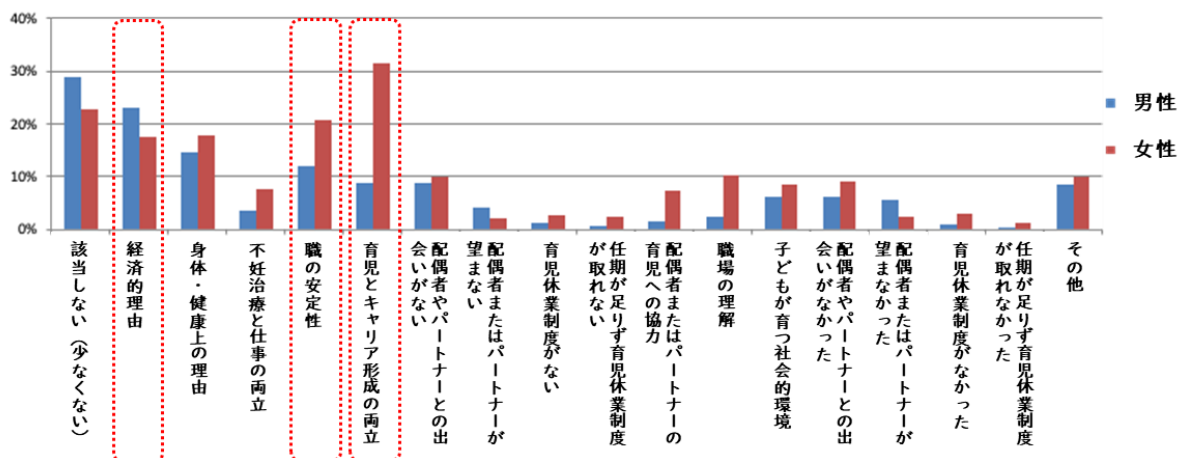


図5. 子どもの数が理想より少ない理由（複数回答）（第5回2021年）



任期付き職に関する調査（図6～図13）。

図6. 年齢別雇用形態 大学・高専等（第5回2021年）
（単数回答）

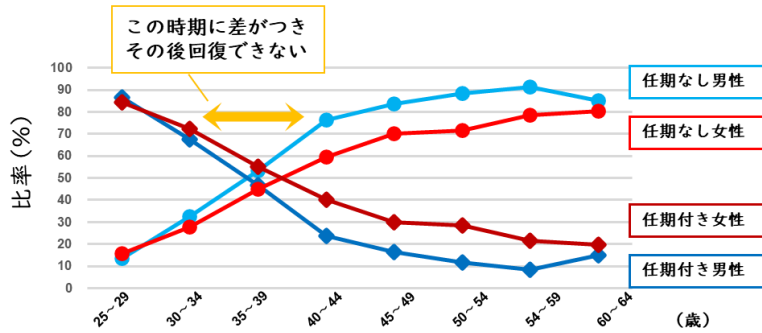


図7. 大学・高専/研究機関の雇用形態と平均年収（第5回2021年）
（役職・男女別、在職場時間40時間/週以上のみ）

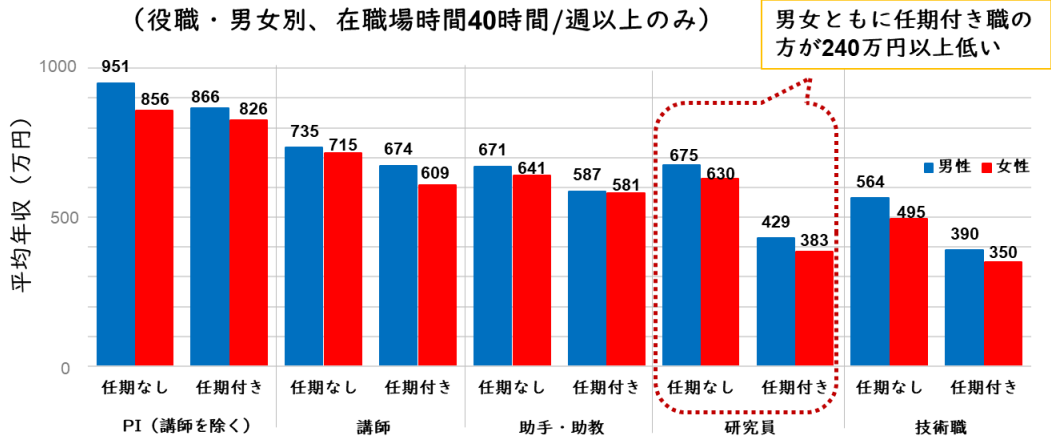
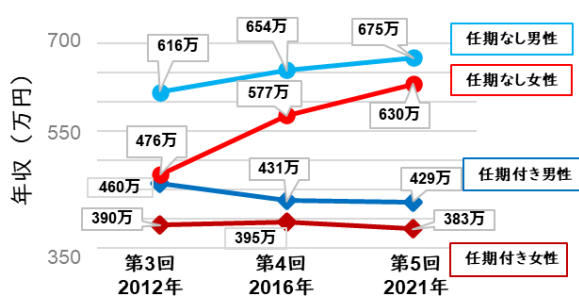
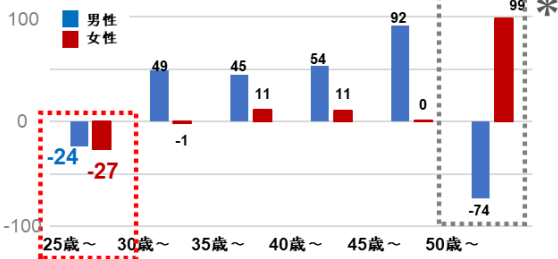


図8. 大学・高専及び研究機関に所属する
研究員の平均年収の経年変化



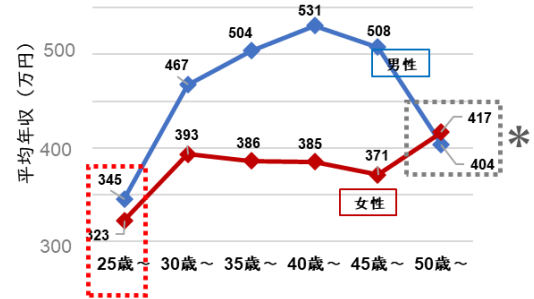
第5回の平均年収—第4回の平均年収 (万円)

図9. 任期付き研究員の第4回の平均年収に対する第5回の平均年収との差 (年齢別・男女別)



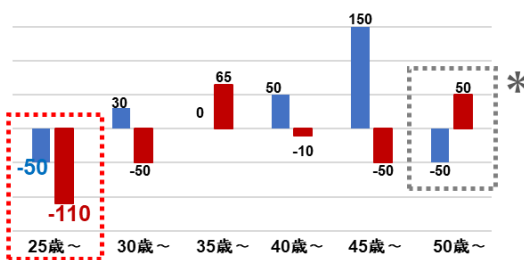
第4回、第5回男女共同参画学協会連絡会大規模アンケート報告書をもとに志牟田美佐が作成 [2022年]

図10. 任期付き研究員の年齢別・男女別平均年収 (第5回2021年)



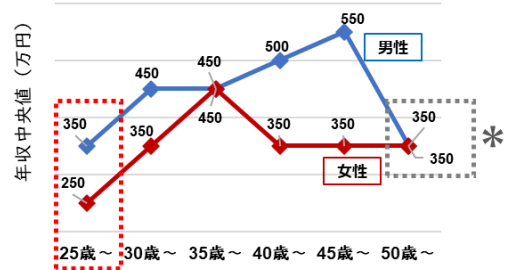
第5回の年収中央値—第4回の年収中央値 (万円)

図11. 任期付き研究員の第4回の年収中央値に対する第5回の年収中央値との差 (年齢別・男女別)



第4回、第5回男女共同参画学協会連絡会大規模アンケート報告書をもとに志牟田美佐が作成 [2022年]

図12. 任期付き研究員の年齢別・男女別年収の中央値 (第5回2021年)



経年比較で明らかになった任期付き研究者における雇止めの現状

図13. 第3回（2012年）～第5回（2021年）の現職の任期年数の比較

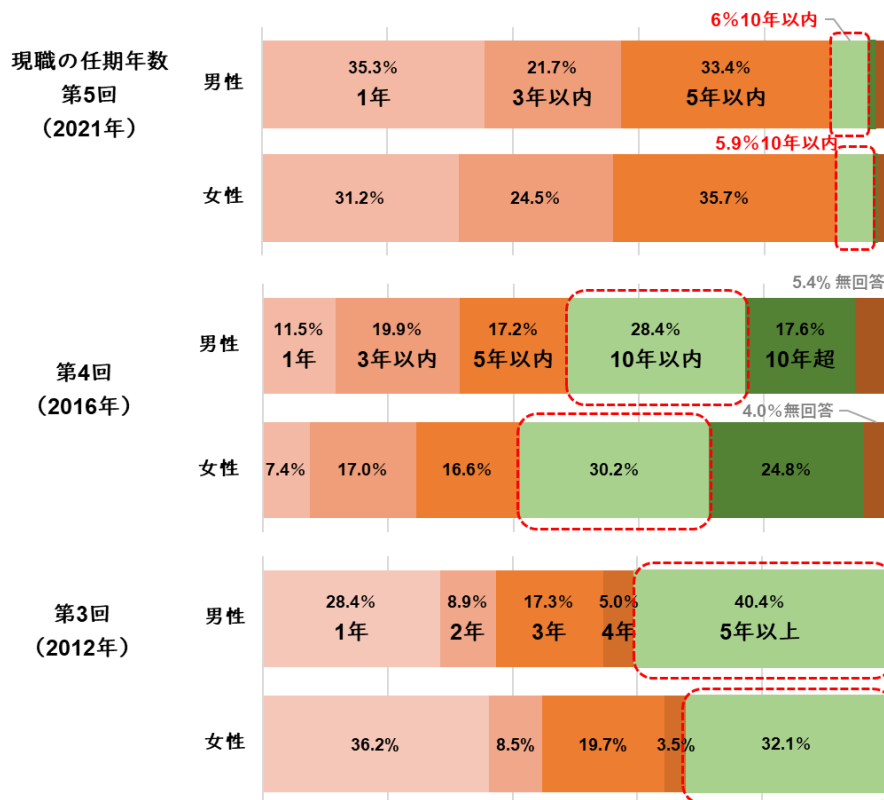
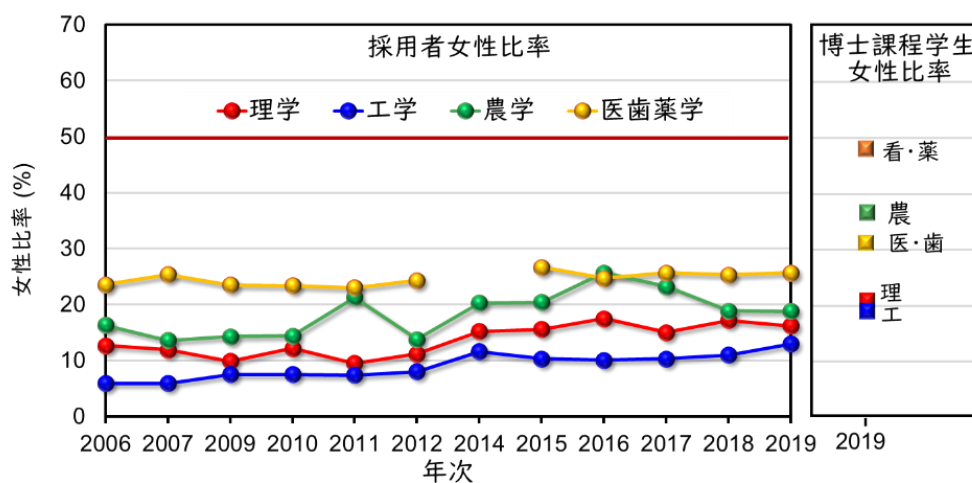
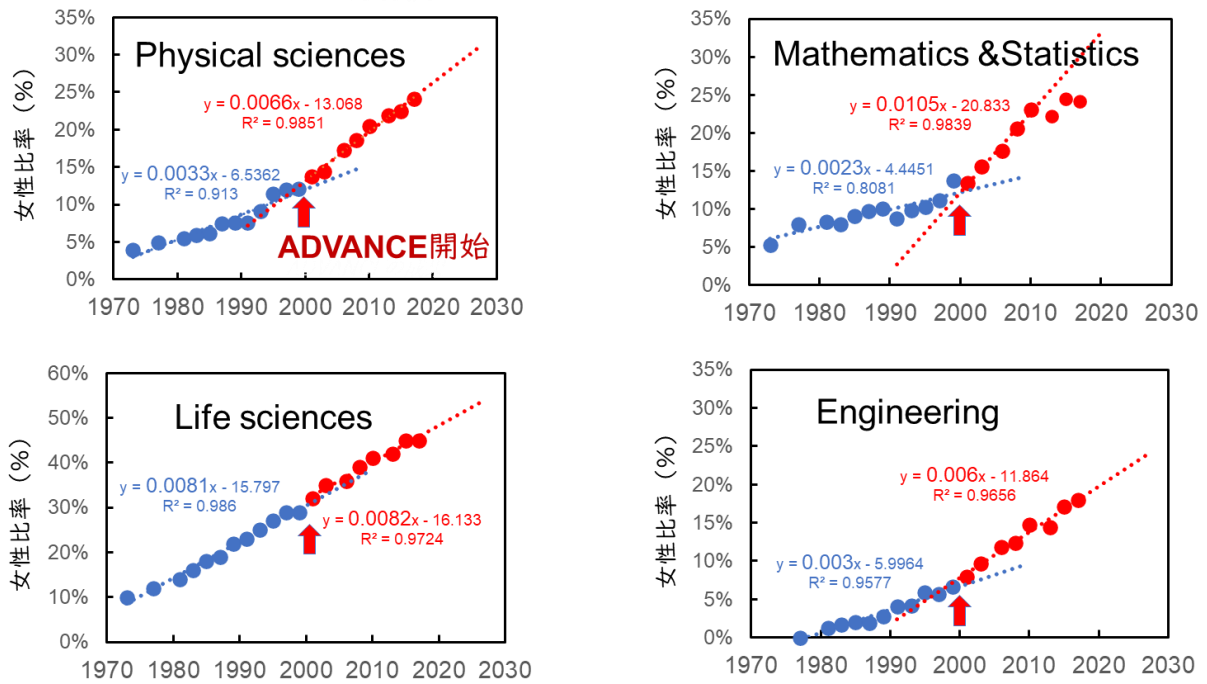


図14. 大学等の理・工・農・医歯薬学分野の採用者と大学院博士課程学生の女性比率の比較



グラフは、内閣府男女共同参画局男女共同参画白書 令和4年版「第4分野 科学技術・学術における男女共同参画の推進」データから作成した。

図15. 意識改革と組織変革が、女性研究者割合を増やす（米国NSFのADVANCEプログラム）



出所：Table S3-14 from Science & Engineering Indicators, NSB-2019-8, <https://www.nsf.gov/statistics/seind/>

© 2022 Hisako Ohtsubo All Rights Reserved.